

能が主に貴族と密接な関わりを持つものだったころ、歌舞伎は民衆の演劇として登場しました。歌舞伎には 2 つの種類があります。格式ある時代物は、歴史上の出来事に基づき、主に権力を握る侍階級の話で観客を楽しませます。一方で世話物は、恋愛や道徳的な葛藤などをテーマとした日常的な物語が舞台上で繰り広げられます。

かつて、歌舞伎は 1 日かけて行われることもあり常連客が好きなように出入りしていました。現在、公演時間は通常 4 時間ほどで、2～3 の演目から構成されており数回の小休憩と 30 分程度の食事休憩を挟みます。

歌舞伎公演の特長の 1 つは、役者がよく第四の壁を壊して観衆に語りかけることでしょう。観衆も同様に、場を盛り上げる形で役者の名前を叫ぶことができます(大向こうとして知られています)。言うまでも無く、歌舞伎の公演は常に活気に溢れており、舞台上での公演が歌舞伎の世界にどっぷり入り込めるように一役買っています。舞台から客席まで繋がる歌舞伎特有の張り出した道は花道と呼ばれ、しばしば演者と観客の間の境界線をぼかしています。これに興味深い小道具や、役者が自由自在に出没できるセリといった舞台の特長が加わることで、歴史的に豊かで視覚的に魅惑的な公演を楽しめるのです。